

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
笠岡市	33205	1	平成20～21年度	平成20～21年度
活性化計画の区域				
岡山県 笠岡市 神島地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 B/A	備考
近年における瀬戸内の水産業を取り巻く環境は、漁獲高や魚価の低迷により年々厳しさを増している。一方、消費者側も食に対する関心は、ますます高まっており「良いものを手頃な値段で買いたい」という要求は高まっている。そこで、既存の流通に依存しない漁業者自らが水産物を販売することで、漁家経営の安定と地産地消が進むとともに、漁業者と消費者の交流が進むことによる地域活性化を目指す。具体的な数値目標は、地域資源活用総合交流促進施設を整備することにより、販売額16,615千円を目指す。	109.0 6%	126.2 5%	115. 8%	

(コメント)

販売目標値109.06%(16,615千円)に対し、126.25%(19,234千円)の売り上げがあり、達成率115.8%と良好な数字が出ている。

2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林水産物直売・食材提供 供給施設	直売所、製氷施設、アスファルト舗装			笠岡湾漁業協同 組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
笠岡湾漁業協同組合	平成20年度	平成20年度	平成21年 3月 21日	
事業の効果				
直売所を新設したことにより、消費者から要望の多い魚の下処理にも対応出来るようになったことにより、漁業者と消費者の交流が図られ、来客数・販売額増につながっている。				

3 総合評価

(コメント)

販売目標を115.8%で達成できており、また、年2回春と秋にイベントを行うことにより、来客者増、知名度アップに貢献している。地元の固定客(リピーター)も多く、地産地消による地域活性化にも一役買っている。今後も安心安全な魚を提供することにより、消費者の信頼を得て、客単価を上げて販売増を目指していく。

4 第三者の意見

(コメント)

平成21年春に移転オープンし、漁師のお母さん達を中心となって、旬の魚の対面販売を行い好評を得ている。定期的にイベントを行い、集客力を高め、また魚の加工品や地元産の野菜類の販売も手掛けており、商品のラインアップの充実にも力を入れている。

岡山県漁業協同組合連合会 参事 森下 倫年

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広に記入すること。